



絵本は子どもだけのものじゃない

大人も 絵本を楽しもう

絵本は子どもたちのものと、皆さんはお考えかもしれませんが、実は絵本の中には大人の方にも読んでほしいものがあるんです。

話が元になっています。

また、「ハルばあちゃんの手」は、ハルという女性の一生を彼女の手の描写で表現したもので、精密な鉛筆画があたかも長編小説を思わせるような、深みのある絵本です。

図書館の絵本コーナーには他にもさまざまな絵本が並んでいます。子どもだけでなく大人の皆さんも、その時々あなたの心に寄り添う一冊を探してみてください。

「おおきな木」は、第二次世界大戦で強制収容所に送られるユダヤ人の母親が、せめてこの子だけでも生き残れるようにと貨車からわが子を投げ捨てたところ、その光景を偶然目撃したドイツ人が、密かにその子を育て上げたという実

新刊紹介



『おおきな木』

シエル・シルヴァスタイン 作
村上春樹 訳

世界で読みつがれているロングセラー絵本が、村上春樹の新訳で登場。注目の一冊です。



『野の花えほん
秋と冬の花』

前田まゆみ 作
あすなろ書房 発行

繊細なイラストでおなじみの前田まゆみによる野の花の絵本。他にも、「野の花えほん 春と夏の花」もあります。

暮らしと
ホツと

—第10回—
消費生活情報

未公開株のトラフル急増
〜新たな手口が次々登場〜

最近、「上場間近と勧誘され購入したが、いまだに上場しない」などの未公開株のトラフルが急増しています。手口を知って騙されないように気をつけましょう。

事例①劇場型

A社から電話があり「C社の株を持つていないか。持つていれば高額で買い取る」と言われたが持つていないので断った。その後B社から「C社の未公開株を1株100万円で買わないか」と電話があった。そこでA社に相談したところ「300万円で購入したので、購入してほしい」と言われたので、B社に電話し100万円で購入した。買い取ってもらおうとA社に電話したが連絡が取れない。

事例②被害回復型

2年前に未公開株を300万

円で買われる被害にあった。最近、投資会社を名乗るD社から電話があり、「過去の被害を全額回復してあげる。ただし、条件としてE社の未公開株を100万円で購入してもらおう」といわれ、300万円が取り戻せるならと思いい100万円を振り込んだ。

その他

その他、金融庁や消費者センターなどを語り消費者を安心させる「公的機関装い型」や謝礼や高値買取を約束する「代理購入型」などの手口があります。

消費者へのアドバイス

- ①「あなただけが儲かる」ようなうまい話はないので、キツパリと断りましょう。
- ②過去に未公開株を購入したところのある消費者を狙って、複数業者が執拗に勧誘したり、「被害回復」をうたって消費者を騙すケースがあるので、これまでに未公開株を購入したことのある人は特に注意しましょう。
- ③断りきれずに契約してしまったり、あやしいと思ったらすぐに家族や消費生活センターに相談しましょう。

(商工観光課)